

技士会だより

①日本橋梁建設土木施工管理技士会

1. 概要

本会は土木施工管理技士の技術力および社会的地位の向上を図ることにより良質な社会資本の整備に貢献し、国民生活の向上に寄与することを目的に、積極的に活動しています。また『橋建技士会』という略称で会員相互の親睦を保っています。1996年（平成8年8月）に会員会社68社、会員数約4,300名で創設されましたが、社会環境の変化で現在は会員会社46社、会員数は約3,300名です。会員会社（46社）でCPDS加入者は約2,600名、一級土木施工管理技士約5,500名、技術士約650名を抱える技術集団でもあります。

2. 組織構成

理事16名、監事2名、評議員15名で企画立案した議案に基づき、会長 原幾人（全国土木施工管理技士会連合会理事）、理

事 石橋和美（同技術委員）、企画広報委員長 小林雄紀（同企画運営委員）、教育安全委員長 増田博次（同編集委員）、事務局長 武石和夫、部長 寺西功等が執行運営しています。

3. 主な年間活動（写真でも掲示）

- ①一級土木施工管理技士受験講習会；4月（大阪会場）、5月（東京会場）会員会社より自前講師で講義
- ②橋建技士会通常総会；6月（東京）
- ③安全研修会（橋建協共催）；6月（東京）
- ④橋梁現場研修会；11月（全国の適当な鋼橋架設現場で研修）
- ⑤若手技術者の鋼橋技術講習会；2月（東京）
- ⑥関東ブロック技士会連合会での意見交換；10月
- ⑦『橋建技士会だより』の発刊；10月



①一級土木施工管理技士受験講習会
（4月 大阪会場20名）



①同講習会（5月 東京会場27名）



②橋建技士会通常総会
（6月 会場：東京46社）



②同通常総会
（6月 優良工事表彰の1コマ）



④橋梁現場研修会
（11月 第二東名高速 鎧田沢橋43名）



⑤若手技術者の鋼橋技術講習会
（2月 会場：東京90名）